踏み出す―行動こそ「変わるチカラ」

「今できることからやってみよう」を合い言葉に
地域資源を生かして取り組んできたまちづくり実践
ここまでの道のりは、今後の展望は…各リーダーに聞いた

奥大井湖上駅を核とした「愛」のシナリオづくり

井川線収益向上検討チーム

井川線収益向上検討チーム
リーダー佐藤廉（やすし）さん

奥大井湖上結婚式に併せて設置

私はもともと井川線に務めていました。だから最初は、私がこの検討チームから提案や相談を持ちかけられる側の立場だったんです。

井川線の知名度アップについて話し合いを進めていくうちに「それじゃあ、まずはこれをやろう」と意見がまとまったのが愛の鍵かけモニュメントの製作・設置でした。

モニュメントを製作する少し前、奥大井湖上駅で初の結婚式が開かれることが決まりました。だったら結婚式までにモニュメントを駅に設置して、式を挙げる2人に鍵かけ第1号になってもらおうという方向で話は進んでいきました。

アイデアは検討チームが出し、井川線の技術者の皆さんと一緒にモニュメントを製作・設置しました。

シナリオづくりが誘客へ

こういった取り組みはシナリオづくりが最も大切だと考えます。モニュメント単体だけでの集客は、正直難しい。例えば奥大井湖上駅を核とした愛の物語をプロデュースできたら…。きっと特色ある駅になる。

そのためには、昨年お見合い列車を企画した商工会青年部とも連携し、出会いの場を演出。そして「鍵かけモニュメント」で愛を誓い、やがては湖上駅で結婚式を挙げる―と、一連の物語を演出することができれば、ここだけの「恋人の聖地」が生まれるのではないでしょうか。

今、活動の方向性がようやく見えてきました。イベントや企画を継続して打ち出していくことで「愛をはぐくむ湖上駅」というイメージを定着していけたらと考えています。

盛んに実施されているグラウンドゴルフに着目

本町・井川地区活性化検討チーム

本町・井川地区活性化検討チーム
リーダー松本憲雅（のりまさ）さん

ちらばる資源を結び付ける

本検討チームでは、近年高齢者が盛んに取り組んでいるグラウンドゴルフに着目しました。本町には愛好者が大勢います。また芝が整備された美しいグラウンドも数多くあります。そのほかにも、文化会館、B&G海洋センター、温泉など、数多くの地域資源があります。それらとグラウンドゴルフを結び付けて活用できないか。実現すれば町の大きな活性化につながると考えたんです。

グラウンドゴルフは健康的に体を動かせて、外に出るきっかけにもなります。町内のみならず、近隣市町にも愛好者がたくさんいますから、交流という面でも大きな効果が期待できます。そこで町内外の愛好者を対象とした大会や合宿プランを考案したんです。

いずれ愛好者が集う甲子園に

まずは小さな規模から、いずれは全国の愛好者を呼び込めるような「全国大会」を開けたら…。それに併せて合宿プランなども打ち出せたら閑散期の誘客にもつながります。

既に他県では、グラウンドゴルフと宿泊（温泉）を組み合わせたパックツアーがあり、この町でも実現可能だと判断しました。

現地踏査した際に出会った愛好者からは「他県・他市町の人とも腕試しができたら楽しいね」「（大会の開催は）地域の活性化になると思う。ぜひ実現して」といった声が多く、企画を後押しされました。

いずれ本町が「グラウンドゴルフ愛好者の甲子園」と呼ばれるよう、大会の実現に向けて各関係機関との折衝を重ねています。

落ちない大石は地域に埋もれた素晴らしい資源

寸又峡温泉活性化検討チーム

寸又峡温泉活性化検討チーム
リーダー市橋豊隆（とよたか）さん

現地踏査で面白い素材を発見

私は岐阜県出身、本町に勤務して3年目になります。寸又峡は以前一度だけ訪れた記憶がある程度で、ほとんど知識はありませんでした。

私たち検討チームでは、まず現地の実際を知ろうという目的で、丸1日かけて外森山ハイキングコースから夢の吊り橋、展望台と見て回り、夜は飛龍の宿に泊まりました。

その現地踏査の際に出合ったのが「外森神社・天狗の落ちない大石」だったんです。こんな素晴らしい素材が地域に埋もれていることをメンバー全員が初めて知りました。私たちが知らないということは、町外の人はもっと知らないということ。ぜひこの素材を生かした取り組みをしていこうと方向性を定め、地元温泉組合の人も交え検討を重ねました。

環境整備から活用する方向へ

活動1年目の昨年は「周辺環境の整備」をテーマに、参道入口の案内看板や新しい絵馬かけの製作・設置、急勾配の参道には木製の階段を設置、絵馬、ダルマ、お守りなどグッズの製作に取り組みました。

2年目となる今年のテーマは「その活用」。地元温泉組合の人たちと一緒に「縁日」を開き、誘客を図っています。町内の受験生（中高生）には、落ちない大石で願かけした絵馬をプレゼント。町内に向けたPRにもなったのではないでしょうか。

今後は「人が来てくれる」ような企画を立て、効果的に打ち出していきたいと考えています。受験生を対象とした夏季セミナーの開催なども視野に入れ、地域の資源を活用しながら継続して取り組んでいきます。